

鹿児島県警察へ高齢者事故防止啓発チラシ・反射材を7千枚贈呈

～令和5年度年末年始の交通安全運動期間中に鹿児島県警察で贈呈式を実施～

一般社団法人日本損害保険協会九州支部鹿児島損保会(会長:大熊 健志 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 鹿児島支店長)では、高齢者の交通事故防止を目的に、啓発チラシと反射材(ブラックほたるくん)7千枚を、「令和5年度年度・年末年始の交通事故防止運動(12月10日～翌1月10日)」に合わせて12月15日に鹿児島県警察へ贈呈しました。

始めに大熊損保会会長から、「鹿児島県内12月14日時点の交通事故死亡者数は39名と昨年に比べ2名増加しており、その中でも、高齢者の犠牲者が27名にも及んでいる。贈呈する反射材は、靴やかばんに貼っていただくことにより、自動車運転者に早期に発見いただき、交通事故防止が図れるものと考えており交通事故防止運動期間にもご活用いただきたい。」と挨拶がありました。

引き続き、チラシ等の贈呈を受けた鹿児島県警察本部 中野 誠 交通部長から、「今年も残り2週間となったが、県内の交通事故発生件数は前年に比べてわずかながら減っているものの、亡くなられた方の約7割が高齢者となっている。また、事故形態としては横断歩道上の事故が増えており、その課題への注意喚起が必要になっている。県としては年末年始の交通事故防止運動を開始しており、各種キャンペーンにおいて、今回贈呈いただいたチラシや反射材をお配りして、ひとりでも多くの方に交通安全意識の醸成を図り、一件でも交通事故が少なくなるように努めていきたい。」とのお礼の挨拶がありました。

鹿児島損保会では、引き続き、県警察や関係団体等との連携・協力関係を深めながら、着実に高齢者事故を減減できるよう、交通事故防止活動に取り組んでいきます。



大熊会長から中野部長への目録贈呈



鹿児島県警察と鹿児島損保会記念写真